

クラブ昇格当時の戦績等

1. 関東甲信越学生弓道選手権大会等の戦績

部室に残されていた第6回～第9回の大会記録をまとめてみました。

開催日と会場は、以下の通りです。

大会	開催日	会場
第6回大会	1965年10月30日・31日	三条市新潟県営弓道場
第7回大会	1966年10月29日・30日	宇都宮市栃木県営弓道場
第8回大会	1967年11月04日・05日	水戸市茨城県立スポーツセンター
第9回大会	1968年11月02日・03日	鎌倉市営弓道場

団体戦は、各大学1チーム8名、1名20射、計160射で競われる。

大学名	第6回大会	第7回大会	第8回大会	第9回大会
茨城大学	96中	99中 ②位	108中 ①位	103
宇都宮大学	106中 ①位	90中		82
神奈川大学	89中	80中		85
信州大学	98中 ③位	—		97
千葉大学	90中	100中 ①位	107中 ②位	107 ③位
千葉工業大学	67中	91中 ③位	105中 ③位	109 ②位
関東学院大学	83中	69中		83
群馬大学	68中	82中		94
埼玉大学	79中	80中		95
横浜市立大学	97中	83中		89
横浜国立大学	72中	76中		70
新潟大学	104中 ②位	91中		113 ①位
山梨大学	53中	62中		81
メモ	本大会初参加		細野隆志個人優勝	

第8回、第9回の大会プログラムには、参与として林初男（千葉工業大師範）先生の記載がある。

第9回大会の古瀬のメモより

本大会4度目の参加、多少の不安を感じながらも優勝を目標に練習に励む。2週間前より団体練習開始。先の1週目は95～110中どまり。2年生6名、3年生1名、4年生3名、2年生中心の練習は的中を見ても不安は拭えず4年生は卒論の最中と云い、3年生は練習不足。だが次の週、試合4、5日前より練習成果が現れ、常に105中以上、しばしば115中を超え129中に達する日もあった。選手連中の心の中に自信が付いてきた様であった。そして11月鎌倉へ。新潟大有利の報があったが、皆例の調子で明るく、旅館に1泊。ここ鎌倉八幡宮境内、深々と木立に囲まれた道場に13校の選手が一堂に集った。秋晴れの陽が選手の闘志を燃え立たせていた。

古瀬明夫さん（当時3学年在籍、マネージャー）

第9回大会（団体準優勝）のメンバーの成績は下表の通りです。

開催日：1968年（昭和43年）11月02日・03日

大学	番号	氏名	学年	立頂	Iの立	IIの立	IIIの立	IVの立	Vの立	的中
千葉工業大学	2-5 80	畔上 浩	4	B1	OXXO	OOXO	OOOX	⊙ ⊙	⊙ ⊙	18
	81	細野 隆志	4	A4	OOXX	OOOO	OOOX	⊙ ⊙	⊙ ⊙	16
	82	塚田 英二	4	B4	OOOX	⊙OOX	XOOX	⊙ X	⊙ ⊙	12
	83	岡地 美晴	3	A3	OXXO	⊙OOX	XOOX	⊙ ⊙	⊙ ⊙	12
	84	玉城 清剛	2	A1	XOOX	XOOO	OXOO	⊙ ⊙	⊙ ⊙	15
	85	室谷 泰海	2	B3	OXXX	OOOO	OOOO	⊙ ⊙	⊙ ⊙	14
	86	森 是文	2	B2	XXXO	OOOO	OXOO	⊙ ⊙	⊙ ⊙	12
	87	荒山 彰	2							
	88	明利 修三	2	A2	OXXO	OOOX	OOOO	⊙ ⊙	⊙ ⊙	14
	89	久保 雅則	2							
	計				19/46	27	24	20/85	24/109	109

上記選手の中で、高校時代から弓を握っていたのは岡地美晴さん（第7回生）のみであり、他は大学から弓を始めた者たちです。

第8回大会（団体第三位）のメンバーの成績は、下表の通りです。

開催日：1967年（昭和42年）11月04日・05日

千葉工業大学	71	坪井 竜彦	4	8	⊙ ⊙	X ⊙				13
	72	堤 博之	4	3	⊙ X	X ⊙				
	73	久我 欣一	4							
	74	細野 隆志	3	4	⊙ ⊙	⊙ ⊙				19
	75	塚田 英二	4	6	⊙ ⊙	⊙ ⊙				15
	76	畔上 浩	3	7	⊙ X	⊙ ⊙				16
	77	岡地 美晴	2	7	⊙ ⊙	⊙ ⊙				
	78	北見 善雄	2							
	79	高梨 和男	2	5	⊙ ⊙	⊙ ⊙				
	80	古瀬 明夫	2	2	⊙ X	X ⊙	⊙ ⊙	⊙ ⊙	⊙ ⊙	11
					22	19/41				105

本大会では、細野隆志さん（当時3年、第6回生）が19中で個人優勝しました。

第7回大会（団体第三位）のメンバーの成績は以下の通りです。

開催日：1966年（昭和41年）10月29日・30日

大学	番号	選手名	学年	立順	的 中 記					録		的中	競	
千葉工業大学	71	堤 博之	3	4	○	○	○	○	○	○	○	X	12	X
	72	坪井龍彦	3	A4	○	○	X	○	○	○	○	X	12	○
	73	久我欣一	3	1	X	○	X	○	X	○	○	○	12	○
	74	畔上浩	2	4	○	○	○	○	X	○	○	○	11	○
	75	細野隆志	2	3	○	○	○	○	X	○	○	○	16	○
	76	塚田英二	2		○	○	○	○	○	○	○	○	6	○
	77	佐々木諒	2	A2	○	○	X	X	○	○	○	X	9	○
	78	浜宏明	2		○	○	○	○	○	○	○	○	9	○
	79	石岡請喜	2	2	○	○	○	○	○	X	○	○	9	○
	80	岡地美明	1	3	○	○	○	○	○	○	○	○	16	○
					20	17/37	21/58			25	16	91		

ここでは、新潟大学と91中の同中となり、1手競射で16射、10中し、競り勝った。

第6回大会（第1回目の出場）のメンバーの成績は以下の通りです。

開催日：1965年（昭和40年）10月30日・31日

千葉工業大学	81	井上勝	4	1	○	○	X	○	○	X	○	○	9	
	82	服部和武	4	5	X	X	○	X	○	○	○	○	17	
	83	大西秀弼	3	3	○	○	○	○	○	○	○	○	14	
	84	中田康雄	3											
	85	緒方博志	3										2/8	
	86	高橋弘明	3	3	○	X	○	○	○	○	○	○	12	
	87	坪井龍彦	2	1	X	X	X	○	○	○	○	○	3	
	88	堤博之	2	2	X	○	X	○	X	X	○	○	2/2	
	89	久我欣一	2	1	○	○	○	X	○	○	○	○	12	
	90	佐々木諒	2	1	○	○	○	X	○	○	○	○	6	
					14	10	24	13	37	45	52	75	67	

クラブ昇格後の試合参加であり、このときのメンバーの多くは高校時代弓道の経験者です。

・教室と射場が近かったことが幸いし、時間ができると各自道場で練習し1日100射以上は当たり前になっていました。休日でも必ず誰かしらの前に立っていました。この頃師範の林先生は、千葉工大の学生は矢数がかかっているから一寸指摘しただけですぐ中るようになる、と話しておられました。学生は、指導してもらおうとすぐに中るようになることから、誰云うと無く先生のことを「林の神様」と称していました。

井田 晃記（第6回生）

2. 第1回関東学生弓道選手権大会 (主催：関東学生弓道連盟)

関東甲信越学生弓道連盟は、関東学生弓道連盟と北信越学生弓道連盟に分かれました。

・北関東ブロック

茨城大学、宇都宮大学、群馬大学、高崎経済大学、流通経済大学

・中関東ブロック

埼玉大学、千葉工業大学、千葉大学、東洋大学、獨協大学

・南関東ブロック

神奈川大学、関東学院大学、都留文科大学、山梨大学、横浜国立大学、横浜市立大学

開催日：1969年11月2日・3日

会場：前橋市スポーツセンター

結果は、優勝：埼玉大学118中、第二位：千葉大学98中、

第三位：千葉工業大学89中

でした。

第1回関東学生弓道選手権大会のメンバーの成績は以下の通りです。

千葉工業大学	70	岡地美晴	4	IV	○×○○○	××××○	××××○	××××○	IV	○×××○	○×××○	○×××○	9
	71	秋山正弘	4	4	×○×○×	××××○	××××○	××××○	IV	○×××○	○×××○	○×××○	9
	72	室谷泰海	3	III	×○××	○×××	××××○	××××○	III	○×××○	○×××○	○×××○	11
	73	明利修三	3	II			八木謙也氏	××××○	II	××××○	○×××○	○×××○	7
	74	久保雅則	3	2	××××○	○×××○	○×××○	○×××○	II	○×××○	○×××○	○×××○	13
	75	八木一夫	2	II	××××○	××××○			II				
	76	甘利富男	2	I	○×××○	○×××○			I	○×××○	○×××○	○×××○	17
	77	鈴木悦雄	2	3	××××○	○×××○			III	××××○	○×××○	○×××○	8
	78	川田公典	3				鈴木謙也氏						
	79	水谷一広	2						I	××××○	○×××○	○×××○	15
		玉城清剛		1	○×××○	××××○	○×××○						
	計				17	17/34	16/33	20/54		17/71	18/89	89	

因みに、1965年(昭和40年)11月にクラブ昇格が認められています。

当時は、同好会の頃からクラブ昇格を、さらには体育会からの補助金の増額および部員の増加を目指して、実績づくりのため朝晩問わず時間を見つけては練習に励む毎日で、対外試合で収めた好成绩を周知させるため、校内の掲示板に戦績をよく貼りだしました。

以上 井田 晃記

2013年(平成25年)10月17日

3. 高校時代に弓道を経験の有無

第6回関甲信大会の選手では、井上勝さん、大西秀弼さん、服部和武さん、中田康雄さん、佐々木諒さんら5名が経験者、緒方博志さん、高橋弘明さん、坪井龍彦さん、堤博之さん、久我欣一さんら5名が未経験者です。経験者/未経験者は5/5。

第7回関甲信大会の選手では、佐々木諒さん、石岡靖喜さん、岡地美晴さんら3名が経験者、堤博之さん、坪井龍彦さん、久我欣一さん、畔上浩さん、細野隆志さん、塚田英二さん、浜宏明さんら7名は未経験者です。経験者/未経験者は3/7。

第8回関甲信大会の選手では、岡地美晴さん1名のみが経験者、坪井龍彦さん、堤博之さん、久我欣一さん、細野隆志さん、塚田英二さん、畔上浩さん、北見善雄さん、高梨和男さん、古瀬明夫さんら9名が未経験者です。経験者/未経験者は1/9。

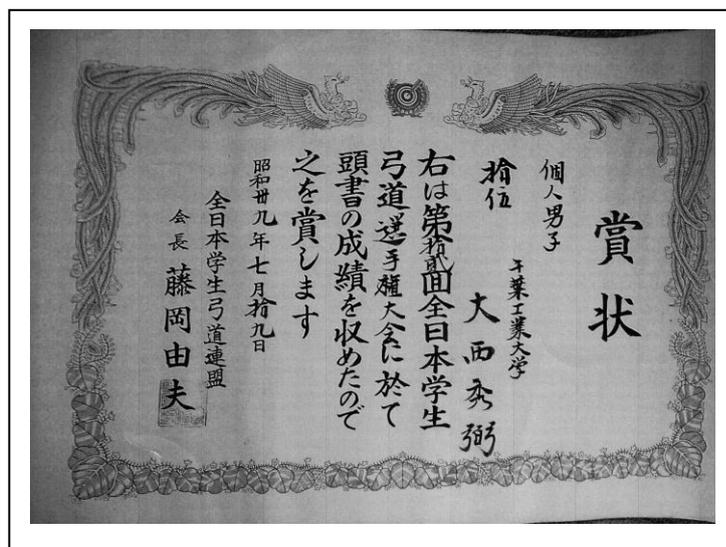
第9回関甲信大会の選手では、岡地美晴さん1名のみが経験者、畔上浩さん、細野隆志さん、塚田英二さん、畔上浩さん、玉城清剛さん、室谷泰海さん、森是文さん、荒山彰さん、明利修三さん、久保雅則さんが未経験者です。経験者/未経験者は1/9。

また、大西秀弼さんによれば、第12回全日本学生選手権大会（昭和39年）のメンバーは、3年井上勝さん（大分）、2年服部和武さん（奈良）・中田康雄さん（清水）・吉田博志さん（東京）、大西秀弼さん（北海道）らは有段者で、高校時代インターハイや国体出場経験者で少なくとも県大会出場経験者とのことです。

第7回生の岡地美晴さんもインターハイ経験者です。

4. 全日個人記録

上記第12回全日本学生選手権大会（昭和39年）において、大西秀弼さん（第4回生）は個人男子の部で10位になりました。右はその賞状です。



5. 未経験者との的中

同好会発足以来時が経つにつれ、部員の大半を弓道未経験者が占めるようになりましたが、矢数をかけた練習と林師範の指導が相俟って、対外試合においても好成績を収めるようになりました。

未経験者は癖がないから中りを得やすい。真直ぐ引き分けて真直ぐ離せば中る。林先生は、指導する女高生の好成績はそれを示している、と話されていました。

6. 連中記録

千葉工大弓道部の連中記録保持者は未経験者である坪井龍彦さん（第5回生）でして正確な記録が手許にないので数字は覚えていませんが、細野隆志さんの記憶によると180～200連中ではないかとの話です。このとき、尺二的の星への的の中がほとんどでした。坪井さんはふだんからよく練習をし、会の深い弓射でした。このときは偶然私も立ち会っていました。当時林先生が、坪井さんの射をご覧になって、このような射が本筋なんだろうなあ、と呟いておられたのを聞いたことがあります。

7. 腕試し

第6回生の細野隆志さんが2年の昭和41年夏、4号館2階の部室に何気なく優勝記念盾を持って入ってきました。盾は、木目が鮮やかな茶色のけやきの本体に金色の葵紋と緑青色の文字が刻まれていたのを印象強く憶えています、

正しくは、

第八回関東弓道大会日光大会（昭和41年（1966年）8月14日）

において 優勝

したということです。誰にも知らせず、自主参加して栄冠を勝ち取りました。

細野さんから優勝盾の写真を提供して貰いました。



以上何分50年前の弓道部草創期の話ですので記憶も薄れてきています。誤りをおそれずに敢えていろいろ書き連ねましたこと、申し添えます。

以上 井田 晃記

平成25年10月24日